

CONNECT

コネクト

下関市教育委員会 生涯学習課
社会教育主事だより No.1
令和7年5月26日



下関市教育委員会 教育部 生涯学習課 社会教育主事の白尾 徳海（しらお とくうみ）、三浦 健太郎（みうら けんたろう）と申します。

社会教育主事は、コミュニティ・スクールを核とした学校と地域の連携教育の推進と、学校の教育課程以外で行われる社会教育を促進するためのお手伝いをさせていただきます。

この通信では、子どもから大人まで市民の皆様が「つながり」ながら、わくわく楽しく学んでいる姿を紹介していけたらと思っています。

寄せ植え教室 ～連合婦人会～

連合婦人会では交流研修会を定期的に行っています。5月12日、市内の婦人会および女性の会の皆さんがやすらガーデンに集まり、「寄せ植え教室」を開催しました。旧園芸センターで長年勤務されていた方を講師にお迎えし、多肉植物の寄せ植えづくりに挑戦しました。箸やピンセットを使い、思い思いの寄せ植えを作っていました。でき上がった作品を互いに見せ合いながら、自然と笑顔が広がっていました。

最後の挨拶では、副会長が「皆さんがこのような活動を各地域に広めることを通して、地域の皆さんをつなげていくことが大切です。」と話し、参加した皆さんもその言葉に深くうなずいていました。



スマホ教室 ～豊田生涯学習センター～

5月15日、豊田生涯学習センター主催の「いまさら聞けないスマートフォン講座」が開かれました。この日は応用編として、音声や画像を用いた検索や、地図アプリの使い方について学びました。

音声検索を用いて、近くにある飲食店を探してみようという場面では、「近くのラーメン店を教えて」とスマートフォンに話しかけると、地域の皆さんにおなじみのラーメン店の情報が瞬時に検索され、参加者の皆さんが顔を見合わせながら驚いていました。

スマートフォンを活用し、より多くの人と楽しく情報を共有し、日常生活がさらに豊かなものになればと思います。



はぐはぐ広場 ～ふくふくこころサポート～

「家庭教育支援チーム」とは、文部科学省が推進する、地域で子育てや家庭教育を支援するチームで、下関市には6つのチームがあります。

そのうちの1つである「ふくふくこころサポート」は、心理カウンセラーが中心のチームです。毎月第2火曜日には勝山公民館で、子育て中の保護者を対象にした「はぐはぐ広場」を開催しています。「はぐはぐ広場」は、我が子との関わり方について心理的なアプローチで考えることをテーマにしています。5月13日は子供の適応タイプに基づく接し方や声のかけ方について学びました。後半は、お母さんたちが今の悩みや将来への不安について、ざっくばらんに話し合うディスカッションが行われました。

お子さんと一緒での参加もOKで、この日も多くの参加がありました。会の最初には、同じ勝山公民館で活動されている団体による手遊び歌などもあり、温かく、そして居心地の良い空間でした。

